

令和7年度 外国語科及び外国語活動 授業改善推進プラン

大田区立相生小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

(現6年)・校内平均正答率が目標値を上回っており、基礎も活用も概ね身に付いている。

(2) 課題

(現6年)・アルファベットの書きの項目のみ目標値を下回っており、書くことに関して課題が見られる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

6年

令和7年度結果	令和6年度結果
問題全体回答率において、目標値に対し、校内正答率は、5.2ポイント上回っている。目標値を下回った領域は以下の通りである。 【アルファベットの書き】	問題全体回答率において、目標値に対し、校内正答率は、0.4ポイント上回っている。目標値を下回った領域は以下の通りである。 【アルファベットの読み(聞く)】 【アルファベットの書き(聞く)】 【英作文】

(2) 分析(観点別)

6年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・音声を聞き、読み方を判別したり、活字体の大文字や小文字を書いたりする技能が十分ではない。 ・短い対話を聞き、話の概要を捉えることができています。	・記述問題の無回答の割合が、他教科と比べて少ない。	・親しみをもって課題に取り組むことができておらず、既習内容を生かして、すすんでコミュニケーションをとることができない。

3 授業改善のポイント(観点別)

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませるために、歌や言葉に親しむ活動を多くとる。 ・大文字や小文字をアルファベット順にならべたり読んだりする活動や、歌や音声とともに文字にふれさせる機会を多くとる。	・こどもが実感をもって質問し、答えるような活動を設定する。 ・児童の思考や判断、表現を促すような問いかけをする。	・既習内容も生かしてコミュニケーションがとれるよう、活動内容を工夫する。 ・目的、場面、状況や活動の目的を明確にして、児童が達成感を味わえるようにする。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・単元で大切な基本的単語の知識をつけるために、歌・ゲームなどでインプットを強化する。 ・音声を聞き、読み方を判別したり、活字体の大文字や小文字を書いたりする活動を多くとる。	身に付けた単語やフレーズを、自信をもって伝えられるよう、お互いに英語を話す活動をできるだけとる。	・既習内容も生かしてコミュニケーションがとれるよう、活動内容を工夫する。

